

令和3年7月26日

保護者の皆様

福井県中学校体育連盟
会長 小林孝史

第59回福井県中学校夏季総合競技大会終了の御礼

日頃より本連盟の諸事業に御理解と御支援と賜り厚く御礼申し上げます。

今般の大会では、3年生にとっては最後の大会であったにもかかわらず、参加人数の制限や無観客での開催とさせていただきます。コロナ禍とはいえ本連盟としては苦渋の判断であり大変心苦しく感じているところであります。多くの選手・保護者の皆様方には、残念な思いや御不満もおありだったこととは思いますが、御理解と御協力のおかげをもちまして無事に大会を終了することができましたこと、重ねて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、本連盟が主催する大会は、県のチャンピオンシップと同時に上位大会の予選となつてはいますが、何よりも大事なものは、学校教育活動の一環として行なわれている部活動の成果を発揮する場であるということです。日々の練習に対する真剣さと努力、技能向上のための工夫やチームメートとの話し合い、そこから生まれるチームワーク、これらは子どもたちを大きく成長させます。さらに勝ったときの喜びや負けたときの悔しさは必ず次へのステップアップにつながります。これら一連の経験こそが尊いものであり、部活動の大きな価値であると思います。

今回の大会では、日頃の成果を発揮しようとする子どもたちの真剣なプレー、仲間とともに笑顔でプレーする姿など、随所に子どもたちの躍動する姿が見られました。これらの姿はまぎれもなく保護者の皆様方の御支援の賜であり、大会までの健康管理、力を発揮できるようにとの言葉かけが見えない力となって子どもたちの背中を押し、支えとなったものと思います。

終わりに、コロナ禍で保護者の皆様方もさまざまな御苦労がある中、お力添えをいただきましたことにあらためて感謝を申し上げますとともに、今後とも御支援を賜りますようお願いを申し上げて、大会終了の御礼に代えさせていただきます。